

## 活動・チャレンジプログラム助成団体用 (A)

### 平成 21 年度 年賀寄附金配分事業自己評価書

\* 該当する を としてください。

<b>整理番号</b>	00127	<b>評価書作成日</b>	平成 22 年 10 月 20 日	
<b>団体種別</b>	1 社会福祉法人    2 更生保護法人    3 社団法人    4 財団法人 5 特定非営利活動法人(NPO 法人)			
<b>フリガナ</b>	ブウシステム			
<b>団体名称</b>	(団体種別は記載しないでください。) ぶうしすてむ			
<b>フリガナ</b>	カワサキ トシヒロ	役職	理事長	印 (必須)
<b>団体代表者氏名</b>	川崎 壽洋			
<b>団体所在地</b>	(郵便番号 790 - 0824) 愛媛県松山市御幸 2 丁目 1 - 16  TEL:089-923-0824    FAX:089-927-1557    Email: staff@busystem.jp			
<b>フリガナ</b>	フタガミ シゲノリ	役職	理事	
<b>評価書作成者</b>	二神 重則			
<b>作成者連絡先</b>	TEL:090-2783-1749    FAX:089-927-1557    Email: futagami@busystem.jp			

<b>配分申請事業の区分</b>	1 社会福祉増進    2 非常災害救助    3 特殊疾病研究    4 被爆者援助    5 事故水難救助 6 文化財保護    7 青少年健全育成    8 健康保持増進    9 留学生援護    10 地球環境保全			
<b>実施事業名</b>	重度障害者就労の為のパソコン技術習得支援と活躍する場として地域のネットワーク形成			
<b>今回実施した事の内容と成果 (300 字程度)</b>	<p>県内 3 個所でのパソコン講習会の開催。 過去 IT 研修実績のない地区での開催。 八幡浜市 (重度 1 名/障害者 4 名) 1 名が雇用になった。 重度障害者の活躍の場の講習会実施 四国中央市 (重度 4 名) 「こころの輪」グループの就労支援 松山市 (重度 3 名/その他 3 名) 重度障害者講師によるパソコン研修を開催した。</p> <p>在宅重度者に対する Web-CONTROL を使った個人レッスンを行った。</p>			
<b>実施時期</b>	(開始) 平成 21 年 7 月 ~ (終了) 平成 22 年 3 月			

事業費	区 分	配分金額 (a)	自己負担額 (b)	事業総額 (a + b)
	実施計画時	500,000 円	78,000 円	578,000 円
	完了時	500,000 円	45,490 円	545,490 円

**実施事業成果評価欄（該当する項目を選び、文字数等自由にご記述ください。）**

**質問 1** 申請時に想定した目標や目指した成果と比べて、実施した結果はいかがでしたか。想定どおりであった、目指したものの以上の成果があった、目標に達しなかった等、達成した水準について、またその内容について、そしてその原因や要因等考えられることをご記述ください。

ほぼ計画通りの結果が出ていると思っています。

前回の受講者が助手を務めてくれました。

四国中央市での研修では、具体的な事が出来る可能性が生まれつつあります。

目標に達していないところ

在宅重度の人に対する個人レッスン、喜ばしいことではあるが受講者が事業を開始したため、当初目標のアビリンピックの出場が難しく研修が途中で中止になった。

課題

パソコンの研修と言うだけでなく、具体的な仕事と結びついた研修が必要

研修には具体的な目標があれば効果が上がると思う。

**質問 2** 本事業の実施により、想定外の成果等がありましたでしょうか。ありましたら是非どのような内容かをご記述ください。

上記しました様に講習会で、パソコンは中級程度の技術を持っておられたため、初心者の方の手助けをお願いしました。精神的に課題があり人間関係が難しい人でしたが、ご自身の熱意もありアシスタントとして活躍して頂きました。これにより自信を持ってもらい今後につながたらと思っています。

今までも、研修の中でできる方にはアシスタントや講師をお願いしてきました。今回の研修では人間関係に課題を持つ方にも可能と言うことと、人を助けるという方法はその人自身を助けるのではないかと思えました。

各地でIT研修を開催しました。直近のもの報告をします。

今治講習会、造船のCADを使った仕事につながる講習会を実施した、受講者からは請負の仕事につながると喜んで頂いています。

宇和島講習会、今回初めて、知的障害の方が複数参加されました。文字入力やその他のパソコンを使った、就労継続事業を行おうとしている施設からの見学もあり将来に向けて前向きに取り組む事が出来た。

技能レベルの違う受講者が来られたので、出来る方達には講師の手伝いなどをしてもらった。手伝い(アシスタント)をお願いした2人は、活躍できる場の提供となり喜んでもらっている。

支援員・相談員は今までになかった支援の方法を喜んでいる。

松山講習会・在宅者の個人レッスン

技術習得の場として、他の障害者団体や支援組織からは見てもらっている。今回、横浜で開催されたアビリンピックでのブース展示でも、全国的にも珍しい試みと評価をしてくれる方がいました。



**質問 8 年賀寄附金助成を受けて良かったと思われる点がありますか。**

**(例えば、事業実施により団体の事業基盤が強化された、地域関係者との連携が強まった、地域の理解が深まった、広報が行われ団体の認知度が上がった、ほかの助成が受けやすくなった等)**

貴ホームページに掲載されたことにより、私ども法人の研修事業を知ってもらう事が出来た。また、県のNPO(ボランティア)担当者にも活動内容を知ってもらう事が出来、他のNPOとのネットワーク形成に役立ちました。

3年間連続して助成頂いた事により、各地でのIT研修を安定的に続けることが出来ました。その間の事業実績により各地の支援者からは高い評価を受けています。また、新しい地域での開催についてもスムーズに進めることが出来る様になりました。

**質問 9 その他(要望等) どのようなことでもお書きください。**

障害者の就労や自立が望まれています。

私どもはITを使って一般就労を目指す人の支援や、福祉施設での福祉的就労への支援、いろいろな事情で外出できない人への在宅就労への支援を行っています。

研修を各地で行うことにより、今まで支援の輪から外れていた人たちにも情報が届き参加されることがあります。IT研修だけでなく何らかの研修なり事業で、誰でも参加出来るシステムがあれば、参加を見合わせていた人たちや支援の情報が届かなかった人たちにも、参加の機会となり社会参加や就労に結びつくと思っています。

障害者の中には、年金もなく雇用もされにくい人たちが沢山います。その人達に技術を研修し社会参加から就労に結びつけたいと願っています。その為に、同じ志を持った障害者グループで事業を興してその資金を研修に使用し、より高い技能で高い付加価値を持った事業を目指したいと思っています。

これからもよろしくお願いします。